

信篤 (SHINTOKU)

い ち か わ

市川市議会議員

松永おさみ

後援会だより 第29号

事務所 原木 1-22-16

電話・FA X 047-327-1470 www.matsunaga-o.net

12月議会

幼児教育振興策を質す WHO健康都市大会の評価は

市川市議会十二月定例会は、十一月二十八日から十二月十六日迄の十九日間にわたり開催されました。

今議会に市長から提案された議案は、条例案が六件、補正予算が四件、契約三件、指定管理者十件、人権擁護委員の諮問一件の合計二十四件でありました。これらの議案は全て原案通り可決、同意されました。市立図書館設置条例の全部改正は、来年四月三十日にオープンする市川駅南口の再開発ビルA棟三階に図書館を開設することに伴う設置、管理について定める案件ですが委員会での審査結果は、指定管理者がその業務に携わることから、それに反対する委員が多数の否決されました。しかし本会議採決により、賛成多数で原案が可決され、開館を待ち望む市民の期待に応えることが出来安堵しております。



謹賀新年

新年あけましておめでとござい
ます。平成二十一年の年頭に当たり、
皆様にとつてこの一年が良い年であ
りますようお願い申し上げます。

さて、厳しい社会、経済、政治情勢
の中で暮れた昨年末に蔓延した不況感の払拭が、新年の最
大の課題と考えます。国の経済対策、新年度予算に期待を
し、市川市の地域密着の行政の推進が緊急の課題と捉えて、
行政各般の問題解決に取り組んでまいります。
皆様の更なるご理解とご支援、叱咤激励を切にお願い申
し上げ、年賀のご挨拶といたします。

県との調整協議の現状と見通しは！

質問 『現代産業科学館の移譲問題の交渉状況は』
答弁 『県は国の補助金を得て、博物館法の博物館として建築したこ
とから、本市への移譲後も博物館であることを求めている。市
はこの条件を検討するとともに調整を続けていく。現状では本
年度中の移譲は困難である』

質問 『北高校が二年後に統合され閉校となるが、敷地四万八七六㎡
を無条件で市が移譲を受けるときと考えるが』
答弁 『北高の建設時に協力金(約六億二千万円)を負担した経緯も
あるので、土地や施設の取得について理解を求めていく。当該
地は、北東部地区におけるスポーツの中心的施設として整備す
るとともに、生活学習施設として活用し、市民の健康と福祉の
保持増進を推進する為に要望を行っている』

質問 『危険な塩浜の直立護岸の補強工事に対する動向は』
答弁 『自治紛争調停の申請も視野に入れた要望に対し、九月三十日
に県の回答があった。納得できる内容ではないが、県会におけ
る部長の答弁等で調停は留保している。県議会からも現地視察
にきて、三番瀬とともに早急に対策を講じる必要性を指摘、今
後とも恒久護岸とし親水性のある護岸となるよう努める』

質問 『市川航路の浚渫について、県の動向考え方は』
答弁 『県は、平成二十二年度から浚渫工事を図る為の深淺測定の調
査費を来年度予算要求をする予定。又、市川泊地の維持浚渫も
当初予算に要求予定。市は県に対し、市川航路等の計画の早期
実施と、適正な維持管理の為の浚渫実施を働きかけていく』

三戸前橋に信号機設置

車や人の交通量の多い、真間川を跨ぐ三戸前橋東側に、待
望の信号機が設置されました。三年前から自治会と共に警察や
市に対し要請してきた成果であり、交通安全に寄与するもの
と大変喜んでおります。見通しが悪いのでご注意ください。

幼児教育の更なる振興に向け

質問「幼児教育振興審議会から出された答申をどう考え、実現に向けてどう対応していくのか」

答弁「就園率の低い幼稚園は、私立幼稚園との共存を踏まえ、園児数の推移を見守っていききたい。そして、本年作成した幼児教育振興プログラムの内容の中で、公立幼稚園の役割を明確にして、公立幼稚園で園児が少なくなる園は、今後統廃合を検討することを基本目標としている。又、施設の余裕部分の活用では、初の試みとして「保幼幼稚園に「親子つどいの広場」を開設した。保育料は経費の推移を見守りながら、改める時には改めたい」

質問「私立幼稚園協会等からの新年度に関する要望にどう対応されるのか」

- ①園児補助金三万五千円を五万円に増額されたい。
- ②第三子保育料無料化を所得制限撤廃し全保護者に実現されたい。
- ③預かり保育補助金上限四十万円は厳しいので、全額助成をして欲しい。
- ④施設整備費補助の増額と教材費については、三才児も対象としたため単価が一人二、二五〇円から千六百円と下がってしまった。この補助を元の金額に戻して欲しい。
- ⑤私立幼稚園協会補助金を増額されたい

答弁①本年度三千円増額した。園児数が多いだけに、負担が大きくなり厳しいものもあるが、できる限り検討してまいりたい。

②撤廃すると約五千五百万円の増額と推計できるので、今しばらく状況を見ていきたい。

③昨年、倍の四十万円に増額したので、次は支給要件の緩和をすることにより、預かり保育を実施する園の拡大を図ってまいりたい。

④施設、設備等は私立も公立も老朽化がかなり進行している。これらの整備費は近隣市の中で本市が一番高額である。教材費については、毎日使うものなので難しい面もあるが、充実する方向で考える。

⑤私立幼稚園で協会加盟は三十二園中二十八園、園児数では八十六・二％である。今後は、利用計画や決算内容を精査し検討したい。

※再質問で、要望事項を満たす為には、どの位の金員が必要となるかとの間に対し、約一億五千万円必要となるが、協会に対するものは約千二百万円強である。そこで協会分をぜひ満額確保されることを強く要望し、教材費の増額も実現するよう求めた。

WHO健康都市大会の評価は

質問「WHO 第三回健康都市連合国際大会の総合的評価を含めた検証結果を伺う」

答弁「十三の地域から七十七団体四四三名参加登録があった。市長や都市の代表者は、予想を上回る三十六名が参加した。そして、約半年を掛けて議論しつくりあげた健康都市市川共同宣言を採択した。収支予算を踏まえての評価だが、当初の見込みを上回る経費の発生もあったが、市の負担金三千五百万円を増額することもなく、事業は完了した。収支総額は一億一千万円となる見込み。限られた予算と資源の中で、市民との協働により、市川らしさを存分に発揮できた大会となったと評価している」

質問「大会の意義を高めるために、市民、地域への浸透をどう考えているか」

答弁「市民が主役であることを基本に、本大会を一過性のものとするのではなく、持続可能性のある健康都市として、何をなすべきか、地域にとって必要な施策は何なのか、大会で活躍された市民の力を借りて、市民が実感できる施策を既存事業の拡大・発展も含めて具体化し、示していきたいと考える」

自転車駐輪場四百台拡張 原木中山駅

原木中山駅の無料駐輪場が拡張され、十二月十五日から利用を開始しました。既存の駐輪場の南側、東西線の高架下で四百台分確保されました。又、船橋市分として廃止した代替分が、一月五日から供用開始です。こちらは、一日使用を含め自転車二百五十台、原付三十台です。駅周辺への放置はしないようマナーを守って欲しいと願っております。

新春の集いを開催します

市旗松永おさみ後援会（松永会）主催の新春の集いを開催いたします。ご参加をお待ちしております。

とき 一月二十五日（日） 午後五時開会

ところ フローラ西船 会費 お一人様五千円

申し込みは三七一一四七〇松永事務所又はご近所の役員まで